



学校だより

令和6年 7月 1日

東京都立村山特別支援学校

校長 阿部 智子

〒208-0012

武蔵村山市緑が丘 1460 番地 1

電話：042-564-2781

「緑が丘校舎での生活がしっかりとしたものになってきました。」

あっという間ですが、一学期も、あとひと月となりました。今年もこの時期は、急に雨が降り出したり、暑い日差しが照りついたり、子供たちならずとも体温調節の難しい季節です。

本校ではコロナウイルス感染症対策での教職員のマスク着用は、児童・生徒在校時は以前と変わらず行っていますが、体育の授業や、屋外での水泳指導時などは、気温、体温の上昇により教職員も体調不良にならないように、マスクを外して指導に当たる場合もあります。大きな声を出さないなど、十分注意をしながら対応してまいりますので、御理解、御協力の程、お願いいたします。また、こもり熱かな？と思われる発熱や、普段と違う表情など、お子様の体調のちょっとした変化なども御連絡、御相談ください。

7月は一学期の学びのまとめの月でもあります。一学期間を振り返り、児童・生徒が自分自身の成長と、さらに努力すべき点について考え、御家族が笑顔で話題にできるような学びにつなげてまいります。



【駒沢オリンピック公園総合運動場での障害者スポーツ大会】

6月1日(土)「駒沢オリンピック公園総合運動場」にて第25回東京都障害者スポーツ大会(陸上競技)が行われました。大変良いお天気になりました。駒沢オリンピック競技場までの送迎、応援をいただいた保護者の皆様に感謝申し上げます。コロナ禍では難しかった部活動は、障害に応じた競技内容でそれぞれの力を発揮することのできる大事な場です。そして何より参加することで校内だけではなく、他校の同年代や先輩とのコミュニケーションの場とすることができる素晴らしい機会だといえます。

メダルがもらえて笑顔の生徒、ライバルが多くて悔しい思いをした生徒、悲喜こもごもの体験も大切です。引率の教員もしっかり日焼けをして帰ってきました。出場した皆さん！よく頑張りました。

【コロナ禍を経て、宿泊行事も無事行われています。高尾の森わくわくビレッジ・・・小学部】



夕方の高尾の森わくわくビレッジ

小学部6年生は、高尾の森わくわくビレッジに移動教室に出掛けてきました。

後輩たちのお見送りを受けて、6月5日6日と、まさしく、「わくわく」しながら出掛けていきました。とても良いお天気で、高尾の森わくわくビレッジのグラウンドは、これから夏を迎える木々が、若草に萌えるすがすがしい場所でした。皆でお風呂に入り、村山特別支援学校の一団が皆で囲んで夕食を食べている様子は、とてもたくましく感じました。

翌日、いつもと違う場所で、夜、友達と一緒に部屋で、なかなか寝付けなかった児童がいたという報告を受けましたが、これこそが大切な学びの時間だと思いました。コロナ禍、全ての宿泊行事、校外学習行事を行うことができず、卒業していった生徒がいます。宿泊行事を体験していないのは児童・生徒だけではなく指導者である教員も同じです。緊張感をもってこれからも指導に当たってまいります。

6年生には、楽しかった思い出と体験したことをしっかりと定着させ、次年度の中学部での生活につなげていってほしいと思います。

【村山特別支援学校の学校案内を一新しました】



6月21日(金)学校公開を行いました。今回は、主に次年度に本校の入学・転学を考えていらっしゃる方と、その関係者様にお越しいただきました。

本校は、3年後の令和9年度に新校舎となりますが、現在は仮設校舎での生活となっています。体育館がないため、体育館より少し小さめの多目的室での活動だったり、水泳指導は外部施設に出掛ける学習だったり校内においては小プールでの活動であ

たりと、不自由な面もあります。そういった校舎内の施設面や授業での様子などを御覧いただき、緑が丘校舎での生活をシミュレーションしていただく機会としています。我々教職員は、この緑が丘校舎での生活を一層充実させて、新校舎に戻っていくために、力強く学びを構築していかなければなりません。そのために今年度、学校案内の冊子を一新し、村山特別支援学校近隣に咲いている「たんぽぽ」のよう

に、たくましく生きていく力をイメージした学校案内を作成いたしました。地域連携のためにもたくさんの方々に村山特別支援学校のことを知っていただき、子供たちが地域と共にこれからも歩いていけるよう発信をしております。落ち着いた中にも、力強さを込めた村山特別支援学校らしさを就学相談にお越しいただく皆様にも御理解いただき、村山特別支援学校でぜひ学びたいと思ってもらえるように教職員一同頑張っております。

【子供たちからの発信を大切に取り組んでいます】

高等部生徒会の生徒から「挨拶で学校を元気にしたい」との思いが発せられ、朝、児童・生徒登校時の生徒会役員による挨拶運動が始まりました。スクールバスで一斉に登校する児童・生徒に挨拶をするとすると、バスをいち早く降りて呼吸を整え、生徒会役員としてそして先輩としての顔になり、玄関前で後輩を迎え入れなければなりません。そうした条件を乗り越えてでも、高等部生徒会の生徒が全校児童・生徒を元気付けたい、という取り組みを始めました。現在は水曜日のみですが、朝、玄関に元気な声が響き渡っています。子供と大人が挨拶を交わす状況が当たり前の朝の様子でしたが、今回生徒会の役員が前にいることで、後輩も役員に近付いていき、挨拶を交わすということを行っています。「たかが挨拶、されど挨拶。」みんなを元気にしたいという生徒会役員の思いを大変うれしく思います。ぜひ続けていってほしいと願っています。

【総合防災訓練全校実施、宿泊防災訓練7月12日・13日(高1)】

7月12日(金)に総合防災訓練を行います。北多摩西部消防署の全面的な御協力をいただき、9:10には起震車、消防車両が来校予定になっています。内容としては、全校児童・生徒が、起震車体験、煙体験、消火器訓練、防災学習を行う予定です。ぜひ御家庭でも、在住地からの災害時の第一避難所はどこなのか、どのような行動や持ち物が必要か話題にさせていただきようお願いいたします。

また、午後は、地震による避難訓練を行い、マチコミ、もしくは御家庭への電話連絡がいったから、御自宅や職場から学校に向かっていただく、引き取り訓練を行います。実際に学校から保護者の皆様のところまで連絡が来てから、学校に迎へに行くと交通渋滞などを想定すると、どのくらい時間がかかるものであるか。また、我々教職員は感染症対策を講じなければならない状況下で、大地震などの災害が起こったとき、どのような基本行動と安全確認を行うのか。しっかりと検証できればと考えています。各御家庭で、この機会を活用していただき御家族の動きなども確認していただくようお願いいたします。

7月12日(金)の下校時は引き取り訓練のため、放課後デイサービスのお迎えには、お子様をお引き渡してできません。放課後デイサービスの方に校内に入ってくださいこともできません。御理解、御協力の程、お願いいたします。

7月12日(金)14:30から13日(土)8:00までは、高等部1年生が校内での宿泊防災訓練を行います。本校では、久しぶりの宿泊防災訓練、校内宿泊になります。実際に、災害が起こったと仮定しての宿泊となるため、非常食での食事、都から支給される飲料水の使用等、通常の宿泊学習とは異なり緊張感をもって対応してまいります。

災害時の状況を想定して、児童・生徒が安全・安心に取り組めるように進めてまいります。御家庭での御理解、御協力をお願いいたします。

